

# 県高P連広報

発行所  
新潟県高等学校  
PTA連合会  
新潟市中央区新光町10-3  
技術士センタービルE-701  
TEL (025) 384-8244  
FAX (025) 384-8288  
印刷所  
株式会社 小林印刷所



## ご挨拶

新潟県高等学校PTA連合会会長  
一般社団法人 新潟県高等学校  
PTA安全互助会 理事長

### 椎谷 周平

(新潟中央高等学校PTA会長)

この度、令和四年度新潟県高等学校PTA連合会会長に就任いたしました椎谷周平と申します。どうぞ宜しくお願いいたします。皆様におかれましては、日頃より各単位PTAの活動をはじめ、当連合会活動へのご理解、ご協力を賜り深く感謝申し上げます。

さて、今年度は寅年ということで、寅という文字は両手で矢を引く張る形が原形で、矢が放たれる準備段階、動き始めを意味することから「始まりの年」と言われております。

今まさにロシアとウクライナの戦争が始まり、新型コロナウイルスは、新変異株へと変異し始め、今年四月から十八歳で成人等、今までにない変化が起こり始めている。特に新型コロナウイルスについては、私達も二年以上に渡り振り回され、社会はもとより、生活スタイル、人の性格や人間性まで変えてしまいました。

でもこの困難な二年間で、とても大切なことを学びました。当たり前にできていたことが、ある日突然できなくなると

いうことを知りました。人との交流を失ってみて、改めて人と人との繋がりの大切さに気付かされました。できることは今やる、思ったことはとりあえずやってみる、先延ばししないという姿勢で努力していくことが大切だということ学びました。今の状況は、決して明るいものではないかもしれませんが、しかし、これから子供達の高校生活は、コロナ禍でリセットされた社会が、新たな行動・生活様式でアップデートされていく時期と重なるのではないかと、また長い抑圧から解放された新しい社会に立ち会えるのではないかと思っております。そういう意味では、非常に貴重な時代に生きていると思っております。

コロナ禍でまだまだ制約はあると思いますが、新型コロナウイルスに細心の注意を払いながら無理なく、活動しやすいう環境をサポートできるように努めていきたいと思っております。

皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。ご挨拶とさせていただきます。どうぞ宜しくお願いいたします。



安全互助会社員総会では、数年来の懸案事項であった会費値上げが承認されました。少子化が進むなか共済制度を維持するため、やむを得ない措置ですのでご理解ください。研究協議会では、書

は、今を時めく横澤夏子さんの写真集「い」といがわびより」(糸魚川市観光パンフレット)を手土産に、「心の成長は甘えと反抗の繰返し」の実例として横澤夏子さんが芸人としてブレイクするまでの心の成長をユーモアを交えてご紹介していただき、最後まで興味の尽きない講演会となりました。

コロナ禍のため、今年度も教育懇談会は中止となりましたが、非常に充実した半日となりましたことをご報告いたします。

今年度の高P連総会・研究協議会及び(一社)新潟県高等学校PTA安全互助会社員総会が、去る六月三日、ホテルイタリヤ軒において開催されました。当日は、眞水正弘副会長の開式のことばを皮切りに、心の中で国家斉唱をした後、脇屋淳子会長から挨拶。来賓の県教育委員会教育次長の高橋裕之様より祝辞を賜り、昨年度会務並びに決算報告、会計監査報告の承認。役員改選を受けて椎谷周平新会長から挨拶。県高P連感謝状贈呈。今年度事業計画並びに予算の承認後、事務局所在地の会則改正が決議されました。

- 面による委員会報告後、四校から提案発表がなされました。
- (1) 高校教育とPTA  
～協働の機会を求めて～  
五泉高校
  - (2) 新潟南高校PTA活動  
～SSHを通じた学校との連携～  
新潟南高校
  - (3) 地域と共に学ぶ  
栃尾高校
  - (4) 地域連携とPTA活動  
出雲崎高校
- 休憩後、「こどもの心の成長と大人の関わり」芸人 横澤夏子さんの笑いは実はお父さん」との演題で横澤富士子様から講演いただきました。横澤様から

## 新潟県高等学校PTA連合会 総会報告

新潟県高等学校PTA会長 小田 将之

# 第71回 全国高等学校PTA連合会大会 石川大会

## 大会日程

### ●大会第1日 8月25日(休)

時間	行 事	会 場	オンライン参加	
			当日	後日
11:30~	受付			
12:50~13:20	アトラクション①	会場1 会場2 会場3	○ × ×	○ × ×
13:30~14:30	開会式・表彰式	会場1	○	○
14:40~17:00	第1分科会 新時代の家庭教育	会場1	×	○
	第2分科会 新時代の学校教育	会場2	×	○
	第3分科会 新時代のキャリアデザイン	会場3	×	○
	第4分科会 新時代の進路選択	録画配信	○	○

### ●大会第2日 8月26日(金)

時間	行 事	会 場	オンライン参加	
			当日	後日
8:30~	受付			
9:00~9:20	アトラクション②	会場1	○	○
9:30~11:00	記念講演 ㈱ファミリーマート顧問 澤田 貴司 氏 演題「やりたいことをやる」	会場1	○	○
	閉会式	会場1	○	○

(会場1) いしかわ総合スポーツセンター/メインアリーナ  
(会場2) 石川県産業展示館4号館  
(会場3) いしかわ総合スポーツセンター/サブアリーナ



## 県高P連総会 提案発表

### 第一発表

#### 高校教育とPTA

～協働の機会を求めて～

五泉高等学校

PTA会長 五十嵐 亨

本校のPTA組織には、大きく広報部と研修部の二つがあります。広報部は学校行事等に参加しての感想等を、広報誌「禪(たすき)」に掲載、年二回発行し、活動内容をお知らせしています。研修部は、毎年、バスを借り上げて、二つの大学を同じ日に訪問する、大学視察ツアーを行っています。進学を希望する生徒が多い大学を中心に、親の目で直接学内を見て、説明を聞くツアーです。

これらに加えて、本校の代表的なPTA活動に、文化祭への参加があります。保護者と教職員、そして生徒も一緒になって餅つきなどを行ってきました。ついた餅は、あんこやきなこをまぶし販売するとともに、おこわも作り、地域の皆さんに大好評でした。コロナ前は、保護者と教職員が協働作業を行う機会も多くあり、互いに親睦を深めることができました。コロナ禍の時代でも、皆が一緒にできる活動を工夫し、保護者の皆さんにも参加の輪を広げていくことができたかと考えています。

## 第二発表

#### 新潟南高校PTA活動

～SSHを通じた

学校との連携～

新潟南高等学校

PTA顧問 山木 英明

本校は平成十五年度に文部科学省のスーパーサイエンスハイスクール(SSH)に指定され、課題研究やグローバル研修などの探究活動をおこなっています。また九割の生徒が大学へ進学しており、PTAとして学校のSSH事業や進路指導と連携した取組を行っています。五月のPTA総会に加え、三学年は年二回、他の学年は年一回の学年PTAを開催し、進路指導について説明を受け、多数の参加者があります。

また新型コロナウイルス感染症が拡大する以前には、保護者が東京大学や東北大学等に赴き、卒業生や大学から説明を聞くことで、子どもたちとともに進路について話し合うことが出来るよう、PTA主催の大学見学を開催していました。SSHの発表会には保護者も評価者として参加し、研究成果を聞くだけでなく、積極的に質問をするなど課題研究がよりよいものになるよう協力をしています。このように新潟南高等学校PTAでは生徒の進路実現に向けた取組を行ってきました。今後も学校と連携し、進路実現に向けた支援が出来るよう、活動を続けていきたいと思います。

# 全国高等学校PTA連合会大会 石川大会報告

新潟西高等学校PTA会長 土田 貴子

去る八月二十五日から二十六日の二日間、金沢市の「いしかわ総合スポーツセンター」及び「石川県産業展示館4号館」を会場に『輝く未来への礎』～親から始める新時代の教育』をテーマに始める新時代の教育』をテーマに第七十一回全国高等学校PTA連合会大会石川大会が開催されました。

初日の表彰式では、本県から村上中等教育学校PTAが優良PTA文部科学大臣表彰を受けました。

その後、四つの分科会が行われ、私は第一分科会の「新時代の家庭教育」へ参加し、伸ばすべき本場に必要能力」に参加しました。【講演Ⅰ】では、『学力』の経済学的根拠を」と題して、【講演Ⅱ】では、花まる学習会代表高濱正伸様から「思春期の親だからできること」と題してお話をいただきました。

本来は家庭教育が役割を担っていた「人への思いやりや道徳心の涵養、自己肯定感の高揚」などが学校に依存している現状や、親の過保護や過干渉、子育てへの自信の喪失、無責任な放任など様々な問題に対してデータに基づき説得力のあるお話を伺い、高校生の親としてどのように我が子の成長と向き合い寄り添っていけばよいのかを一度見つけ直すヒントを与えていただきました。

二日目は(株)ファミリーマート顧問 澤田貴司様から「やりたいことをやる」と題してご講演いただきました。石川県出身の澤田様は、幼少期、お父様から人としてのあり方について厳しく育てられたそうです。伊藤忠・ユニクロ・ファミリーマートの発展に携わる中で、常にひとりでも多くの人を『物心両面』で幸せにすることを使命に努力されてきた根拠にあったのは、お父様からの利他を大切にする教えだったことが分かりました。

やりたいことをやるには責任が伴う。逃げ場をなくし納得して努力することが自己成長につながるというお話はそのお人柄も含めて伝わり感銘を受けました。

今回は、会場での臨場感に触れ集合開催の良さを改めて実感しました。来年度は宮城県で開催されます。多数の皆さまが不安なく参加できるようにすることを願っております。



## 第三発表

### 地域と共に学ぶ

栃尾高等学校

PTA会長 吉田美紀子

本校は一学年二クラスの小規模校で地域との関わりを大切に行っている学校です。今年度、創立百十四年目を迎えました。

昨年度はコロナ禍による、学校内の諸活動が制限される中、「PTAとして子どもたちの為に何かできないか」と考え、七月に七夕の飾り付け、十二月にクリスマスツリーの飾り付けを行いました。コロナ禍で気持ちが少し落ち込む中、季節感を感じとれる取り組みが生徒の皆さんとできました。

本校は四つの系列があり、それぞれの特徴を活かしてキャリアアップを図るべく活動を行っています。

昨年十月に栃尾地域で「栃尾緑日」というイベントが行われ、少しでも明るい気持ちになってもらいたい思いからランタン風のオリジナルライトを作成販売しました。予想以上に好評で、現在、このライトの作成を機に栃尾商工会、栃尾支所との間で新しいライトの制作企画が進んでいます。

今後とも地域と連携を行いながらPTA諸活動を実践していきたいと考えます。

## 第四発表

### 地域連携とPTA活動

出雲崎高等学校

PTA会長 東 直子

出雲崎高校は、特別支援教育と地域連携による探究活動を両輪とした学校です。

令和二年度に、学校所在地である出雲崎町と、地域社会の発展に貢献する人材の育成を目的に地域包括連携協定を締結し、物心両面で多くの協力をいただいています。

昨年度は、連携活動の一環で、JR出雲崎駅前本校の応援看板を設置していただきました。この看板は、PTAが中心となり、生徒、保護者、地域の方にデザインやメッセージの募集を呼びかけ作成しました。カラフルなデザインが、無人駅となった駅前に彩を与えています。

また、校長とPTA会長で出雲崎町教育長を訪問し、日頃の教育活動への協力の御礼とともに、町の小中学校も含めた学校教育についての情報交換を行いました。PTAとしても、前例にとらわれることなく、新しい視点から、今後もある限り協力していきたいと考えています。

このように、地域、学校、PTAが一体となり、全ては、生徒一人一人が輝くために、実り多き活動にしていきたいと思えます。

